

日本看護歴史学会 会報

日本看護歴史学会
第23号
1996年3月31日

歴史研究の方法

亀山 美知子

今年もすでに三月目に入った。皆様方は日々、御研鑽を積み重ねていることと思う。

さて、本会報の第六号、第一七号に歴史研究について触れている。だが、その中で説明は要約された感の強いものであるか、論文の評価に関する編集委員会の規定をベースにした研究の基礎的手続等に言及したもの等々であった。

読者の方々にとっては、いささか判り難いものであったのではないだろうか。その反省の上に立つて、ここに敢えて歴史研究の方法について、あらためて言及することにしよう。

最近の私の研究から

この研究対象は、残念ながら看護史に関するものではない。だが、

実は出発点は看護史に関する調査が起点となっている。

それは女子留学生第一号のうちの一人、山川捨松（後の大山巖の妻）に関する史料を探していた時のことである。かつて、捨松について知るため、会津若松に四、五年ばかり通ったことがあった。

当初は全くの駆け出しであったから、捨松同様、会津若松出身の山本八重（後の新島襄の妻）の史料探しをしたのだが、詳細を掴むには至らなかった。幸い、教え子の一人が会津若松出身であったことから、捨松に関する文献を探さよう頼んだのである。

休暇明けに帰って来た彼女は、同地の図書館で入手した三点ばかりのコピーを持って来てくれた。

現在なら、国会図書館等々ではコンピュータで、件名を検索すると所蔵文献中の該当する文献リストを瞬時に画面に出してくれる。だから、すぐさま文献を請求できる。もし、そのような設備がないとすれば、昭和四〇年代に発行された『人物文献目録』等や『日本史研究』等の雑誌でその年度中に、発表されたものの題目が分かる該当部分を探せばよい。その上で、検索した書籍（先行研究）を読み込むのである。

すでに発表されたものであっても、完全無欠とは限らない。また、執筆者のテーマに対する問題意識は、他の研究者の関心と完全に重なり合うものではない。読み込むうちに、その論文に対する疑問が生じたり、ある事象についてのコメントに異論を唱えたいことが起こる筈である。これらが、次の研究者にとっての研究の動機につながるようになる。

研究の展開

さて、前述のように女子留学生第一号の山川捨松について史料を集め始めたのだが、その内に、奇妙な記載があることに気づいた。それは、従来の史実とされたものは、彼女たちが五人で一緒に渡米したことになっているのだが、そ

の内の一人は、別に出発しているのではないかという疑問である。当時の模様については、外務省関係の書籍に久米邦武が記した文書が明治四年の留学生（男女）について報告している。また、近代初頭に創刊された『新聞雑誌』にも女子留学生の名が記されている。

だが、偶然のことであるが、私が外務省で入手したパスポートには、五人の内の一人の女性の名前は見当らなかったのである。にも拘らず、悪質な書籍もある。『明治新聞編年史』の明治四年の項には、五名の女子の記事の下に、恰も五名が一緒に渡航したかのようだ。これは『新聞雑誌』の引用には全く見られないものである。

このように、歴史研究の基本とは、十分な史料の収集が第一である。それも批判出来てこそ、問題意識が明確になる。安易に先行研究者の説に追従する必要はない。それを上回る労力が必要なのだ。

看護界では研究が流行である。だが、以前も批判したがグラウンディルセオリー的なごく基本的な手続きでは、専門的な研究には至らない。歴史研究と実験研究の連続性が異なるのは誰しも知っている筈なのだから。

第十回日本看護歴史学会大会予告

「歴史にみる女と男」

第一〇回日本看護歴史学会大会は農村保健婦の発祥の山形県、旧山形済生館の建物が完全に保存されている街、山形市で開催されます。

TEL〇三三六一二五―一六四二一

◆大会プログラムの概要

△第一日目▽八月二三日(金)

午後一時より講演二題

「歴史に見る女と男Ⅰ」服藤早苗氏
「歴史に見る女と男Ⅱ」亀山美知子氏

午後四時半 総会

△第二日目▽八月二四日(土)

午前

対談「歴史研究をめぐって」

服藤早苗氏と亀山美知子氏

その後会員による研究発表

午後

分科会・懇親会

◆写真展

二三日と二四日の両日

「遊学館」二階ロビーで「看護のあゆみ」と「山形の保健婦助産婦看護婦」写真展を行い、山形市民の方々にも公開します。

山形市への交通

電車の場合、東京駅より山形新

幹線(つばさ)で二時間四〇分、

仙台より山形線で一時間。

飛行機の場合、大阪関空・大阪

990山形市緑町一丁目二一三六

「遊学館」

◆開催期日

平成八年八月二三日(金)

八月二四日(土)両日

◆会場

990山形市緑町一丁目二一三六

伊丹より一時間、札幌より一時間九州福岡より直行便開始。

車の場合、車社会なので駐車場は多いが、遠方からのドライブ旅行の場合はホテル予約時に予約する。

◆ホテル・旅館

観光地なのでホテル・旅館は多い。リスト準備する予定。

東北地方で初めての開催です。山形県看護協会、山形県、山形市から財政上、会場の提供等々援助を受け、山形県の会員一同はりきって準備を進めています。ぜひご参加下さい。

日本看護歴史学会

山形県会員一同

第十回大会分科会

話題提供者募集

分科会では、大会での話題提供者を募集しています。例年のように山形学会でも多くの提供者で盛り上げましょう。話題提供者は左記の要領を記入して、お送り下さい。

一、内容 研究テーマ

要旨・呼びかけ(百字以内)

二、期日 六月末日

三、送付先

723 広島県三原市学園町一―一
広島県立保健福祉短期大学
高田節子宛
多くの応募を期待しています。

分科会報告は、分科会活動の一環として毎年大会開催時に発表の場をもうけています。その分科会も十回目を重ね記念すべき年を迎えました。山形での大会開催は、分科会活動の基盤を初回大会時より築いてこられた高橋みや子幹事が大会責任者となりますので、大いに盛り上げたいと思います。

昨年の京都大会では、会報二二号に要旨を掲載していますが、「ナイチンゲール研究」「制度史」「冬国史」「産婆教育史」「仏教と看護」「病院史」「看護教育史」「保健婦の歴史」の八分科会があり、それぞれ活発な意見交換がありました。継続して発表する方、新しく発表する方の応募をお待ちしています。

第一〇回大会のメインテーマは「歴史にみる女と男」となっていますが、会員の日頃研鑽している関心分野について話題提供して頂ければ良いのです。研究成果を話題提供し、研究領域の開発、研究方法の検討、史料の発掘、文献などの情報交換など幅広い意見交換

によって、さらなる研究を深める
良い機会となりますので、どんど
ん話題提供を申し込んで下さい。

すでに本学会に参加されている
方は、御存じと思いますが、それ
ぞれのタイトルを掲げた話題提供
者が、全体会議で要旨を説明しま
す。その後、各分科会に分かれ発
表・意見交換となります。関心を
もつ分野の人々が集まり、質問・
討議が行われます。今すすめてい
る研究をまとめて話題提供者になっ
て下さい。

分科会担当 五十嵐節 高田節子

訃報

本会々員で、元厚生省看護課長
等を歴任された都築公氏が去る三
月一〇日に亡くなられました。七
五歳でした。かつて、御自身の関
わられた職務のことを纏めたいと
言われていたことが、心より残念
に思います。

氏の御冥福をお祈りいたします。

会費納入のお願い

会費滞納の方々が増加し、規模
の小さい会です。会の運営に
支障を来しております。滞納され
ている方は、至急振込んで下さい。

〇一〇二〇一―一五二八五
日本看護歴史学会

一九九五年度幹事選挙

投票結果報告

投票率二七・八%

投票期間一九九五年九月二〇日
から一九九五年十二月二〇日
第四期幹事選挙が行われました。

投票者八一名、白票三名で総得
票数七六二票、無効票四票、投票
率二七・八%でした。

各会員の得票数は、左記の通り
です(氏名敬称略、得票数)。

- 亀山美知子 七〇票、高橋みや子
五六票、草刈淳子 五三票、玄田
公子 三七票、鶴沢陽子 三三票
氏家幸子 三〇票、高田節子 二
九票、五十嵐節 二八票、依田和
美 二八票、吉川龍子 二七票、
藤村龍子 二六票、ライダー島崎
玲子 二五票、岡山寧子 二二票
小玉香津子 二二票、山本捷子
二二票、大平政子 一九票、福本
恵 一五票、武藤美知 一二票、
山崎雅代 一二票、吉田時子 一
〇票、渡部尚子 一〇票、以上が
二〇位までですが、以下は票数ご
とにまとめて報告致します。
- 九票 高嶋妙子、八票 川島みど
り、七票 稲田八重子、花鳥具子、
六票 上岡澄子、内田柳子、岡田
麗江、岸本多恵子、田中幸子、渡

- 部喜美子、五票 江崎フサ子、宮
里和子、四票 赤沢欄子、祖父江
育子、都築公、三票 小南吉彦、
佐山光子、青木うめ子、鈴木美恵
子、杉本郁子、南出成子、加藤光
宝、徳川早智子、二票 野村陽子、
日隈ふみ子、岡崎寿美子、河本令
子、増田心子、泊祐子、松岡緑、
佐藤雅美、加納尚美、高岡スミ子、
山田成子、一票 森英俊、川口孝
泰、赤松彰子、小田正枝、佐藤サ
ツ子、小栗克子、岸本郁美、佐藤
喜根子、菅原スミ、宇佐美千恵子、
森山悦子、武藤勝治、伊藤幸子、
名原寿子、安部さく子、岸根滋子、
松田比佐子、坂本玄子、秋山智、
内藤直子、宮中文字、本田五女、
松本香代子、大嶋紘子、大石杉乃、
野鳥幸子、狩谷明美、鎌田美智子、
平尾真智子、船越文代、長川トミ
エ、竹谷英子、田中多鶴子、金井
悦子、遠藤直子、田中直子、遠矢
福子、以上の通りでした。
- なお、三月中旬までに得票上位
の各氏宛に、幹事就任の可否をう
かがいます。十名の幹事就任が決
定した上で、次号に第四期幹事
(任期三年、一九九六年度―一九
九八年度)として、発表致します。

選挙管理委員

- 岡田麗江
- 岸根滋子
- 南出成子

高齢化社会に益々必要な看護の役割とは、看護者・医師、必読の書

六十五年
看護と共に

吉田浪子の歩みと素顔

山本捷子著

B6判 260頁
写真60余点収録
定価2,000円(税込)

〈戦後50周年記念〉

生きた看護とは何か!? 患者さん
のための看護を求めて65年!!

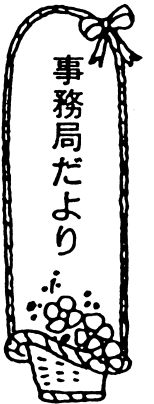
戦前・戦後を通じ弛みなく看護一筋に日本
の混乱期を乗り越え、今日の看護界確立のために勇気と信念を持
ちつづけ、実践された「日本看護の先達者」、その人の実録の書。

【推薦】元日本看護協会会長 大森文子先生

「今日ほど真の看護が求められている時代はありません。心が
病み、高齢化も進み、社会不安の中で看護の苦難時代に勇気と
信念を持って歩まれた吉田姉の功績を知ることにより、後輩は
大きい勇気と道しるべを得ることが出来ると思います。……」

ご注文は直接当社または書店へ

発行元 〒108 東京都港区海岸3-19-2-705・6
ジェシーエス出版 TEL.03-3769-4729
発売元=星雲社 FAX.03-3769-4730
TEL.03-3947-1021



◆一九九五年会員住所録訂正

Table of member addresses and contact info. Columns include member number, telephone numbers, and locations like 仙台市, 仙台市, 大専攻科, etc.

Table of member addresses and contact info. Columns include member number, telephone numbers, and locations like 日本保健, 日本中央保健, 北大路町, etc.

◆新入会員 (敬称略)
吉内恵美子 640和歌山市中之島
九九九一三三
TEL〇七三四一三一四八二
尾崎千鶴 682一〇六鳥取県倉吉市上
朱積二六〇
TEL〇八五八一二八一五六六一

※異動事項は必ず事務局へご連絡下さい。

95 95 94 94
1016 016 024 023
洲崎VI ↓ 洲崎IV 保険医療課 ↓ 保険局医療課
TEL 24 ↓ 1869
1869 ↓ 小白川町2
95 95 94 94
013 005 024 023
岸町28 ↓ 岸町18
自宅 ↓ 990 ↓ 990 ↓ 21
勤務先 小白川2 TEL 0236 ↓ 87

編集責任者 依田和美
発行責任者 依田和美、岡田麗江
〒三 大阪府羽曳野市はびきの三
七一一〇
大阪府立看護大学医療技術短期
大学看護学科
日本看護歴史学会事務局
〒三〇 千葉市中央区亥鼻一八一
千葉大学看護学部
看護実践研究指導センター
鶴沢陽子 気付
〇四三一二二六一二四五八

編集後記

歴史作家の司馬遼太郎氏が急逝した。何年前かに彼の講演を聴いたことがあるが、その中で司馬氏は英国を例に挙げて、歴史を大切にすることは文化度の高い国であり、国民が自国の歴史に深い関心を持ち、学ぶことが国としての成熟に欠かせないと話されたことが記憶に残っている。
私たちの日本看護歴史学会は非常に小規模な学会であるが、司馬氏の言葉を借りれば、日本の看護の成熟には欠かせない大事な役割を持った学会であるといえる。
編集にたずさわりながら、改めてこの言葉を思い出した(よ)。